



Verona Client for Windows ユーザーズガイド (VPN)

Verona のロゴマークは株式会社網屋の登録商標です。

その他の会社名、商品名は各社の登録商標または商標です。

本書で指定している箇所以外でソフトウェアに改変を加えた場合は、サポート対象外となります。

本書の一部または全部を無断転載することを禁止します。

本書の内容に関しては、将来予告なしに変更する場合があります。

本書では正確な情報を記載するよう努めておりますが、誤植や作成上の誤記がないことを保障するものではありません。

目 次

はじめに	2
第 1 章 Verona Client のインストール方法	3
1. 概要	3
2. 動作環境	3
3. Verona Client のインストール	3
第 2 章 リモートアクセス VPN の接続手順	7
1. 接続に必要なもの	7
2. リモートアクセス接続先の追加	7
3. ログイン（Microsoft Entra ID, Verona Cloud, IDaaS との連携機能）	10
4. Verona Cloud からのリモートアクセス接続先の追加	16
5. リモートアクセス VPN の接続 / 切断	18
6. プロキシ設定（プロキシサーバ経由での Verona Client の利用）	19
第 3 章 Verona Client の管理機能	21
1. VPN の自動接続	21
2. VPN タイプ	23
3. 詳細設定	24
4. VPN 接続/切断の履歴	25
5. 接続用パスワード	26
6. ネットワーク診断	28
7. リモートアクセス接続先の削除	30
8. ログ情報の保存	31
9. ネットワークデバイスの再インストール	33
10. ブレイクアウトドライバインストール	34
11. IPv4 優先設定	35
12. Verona Client のアンインストール	36
13. Verona Client ポリシー	36
第 4 章 トラブルシューティング	39
付録 1 サイレント（非対話型）インストール	40

はじめに

本書では Verona Client による VPN 機能の利用手順について説明します。

Verona Client は、端末にアプリケーションをインストールして、Verona Cloud から発行された証明書を登録するだけで導入が完了し、ワンタップ/ワンクリックで各種機能をご利用いただけます。

●ユーザーズガイドの各章の説明

本書には以下の章があります。

第 1 章 Verona Client のインストール方法

第 2 章 リモートアクセス VPN の接続手順

第 3 章 Verona Client の管理機能

第 4 章 トラブルシューティング

●対象読者

本書は、Verona Client を利用される方を対象としています。


●その他の情報

Verona WEB サイト (<https://www.amiya.co.jp/solutions/verona/>)では、

サービスに関する様々な情報が参照できます。

●表記

本書では設定や利用上の注意事項を以下の通り記載します。

表記	説明
 注意	設定や利用上の注意事項を記載します。

第 1 章 Verona Client のインストール方法

1. 概要

Verona Client は、リモートアクセス VPN をはじめとする多機能型セキュリティソフトウェアです。Verona Client を Windows OS の端末にインストールし、Verona Cloud から発行される証明書を登録することで、外出先などから Verona Edge ヘリモートアクセス VPN による接続をすることができます。

2. 動作環境





対象 OS	Windows 10 (32 ビット版 / 64 ビット版) Windows 11 (64 ビット版)
メモリ	1GB 以上 (推奨)
HDD	200MB 以上の空き容量 (インストール先ドライブ)

3. Verona Client のインストール

Verona Client インストーラーをダウンロードします。インストーラーはインストールする OS に合わせて選択してください。

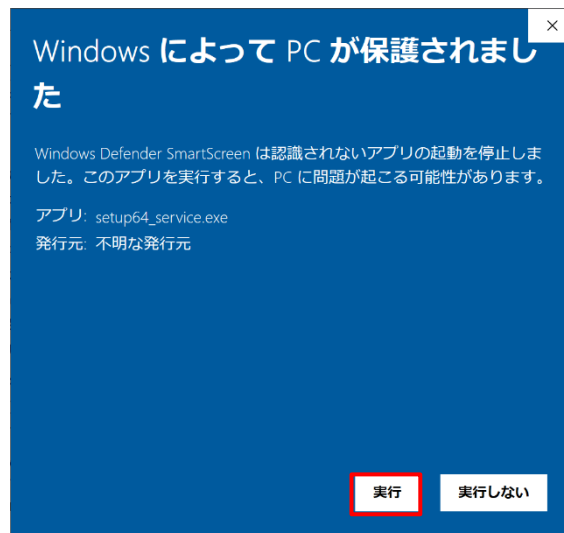
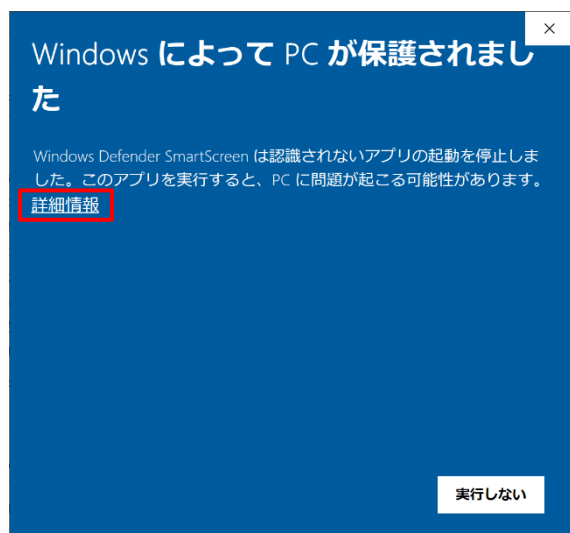
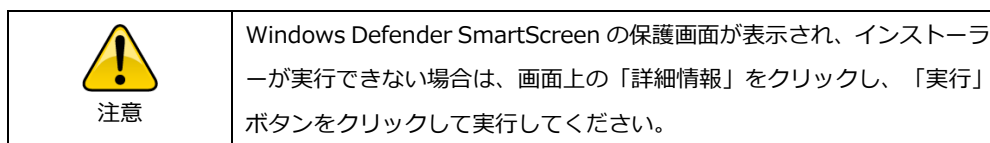
32 ビット OS 用 : setup_service.exe
64 ビット OS 用 : setup64_service.exe

ダウンロード URL がご不明な場合は Verona サポートにお問い合わせください。

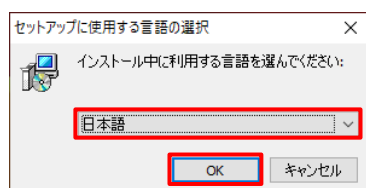
 注意	Verona Client のインストールには、管理者権限が必要となります。
 注意	古いバージョンの Verona Client からバージョンアップする場合は、アンインストールせず、上書きインストールでバージョンアップをしてください。
 注意	上書きインストールを実行する場合は、Verona Client が停止していることをご確認ください。
 注意	ウイルス対策ソフト等、セキュリティソフトウェアをインストールしている端末の場合、予め OFF にした上でインストールを実施してください。

1. インストーラーをダブルクリックし、インストールウィザードを起動します。

管理者アカウント情報を求められた場合は、入力します。



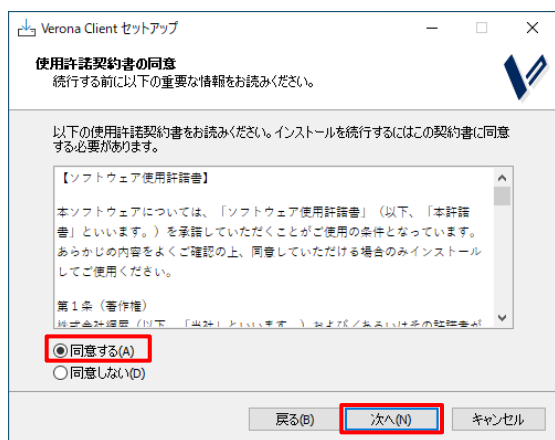
2. 言語を選択し、「OK」ボタンをクリックします。



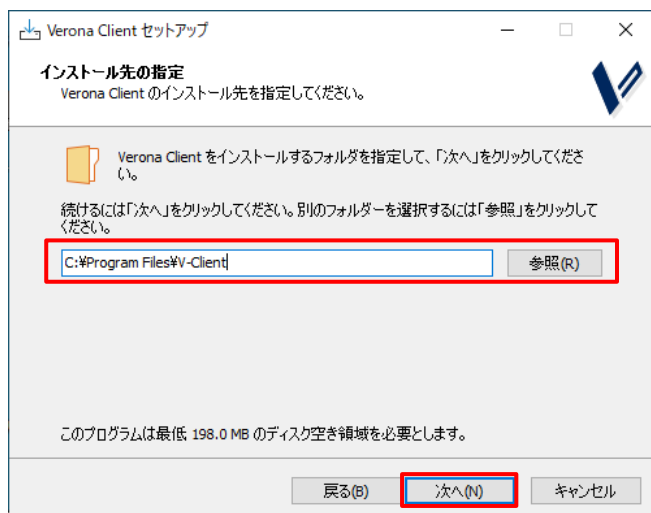
3. 「次へ」ボタンをクリックします。



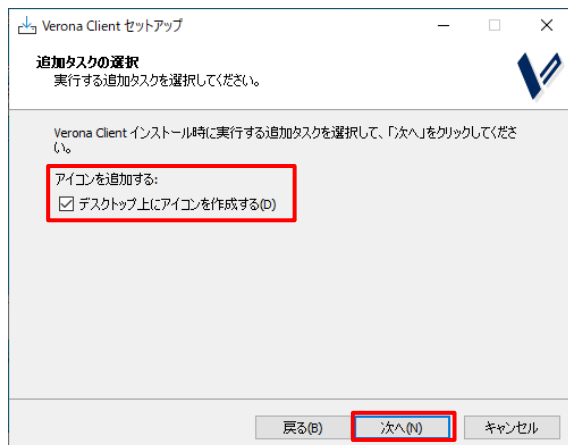
4. 「使用許諾契約書の同意」画面が表示されますので、許諾内容を確認の上「同意する」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。



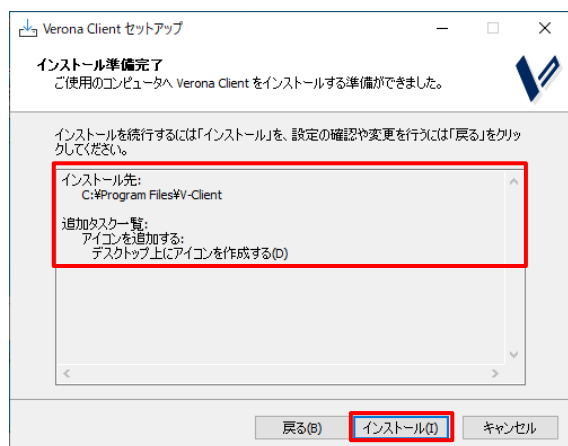
5. インストール先フォルダーを指定し、「次へ」ボタンをクリックします。



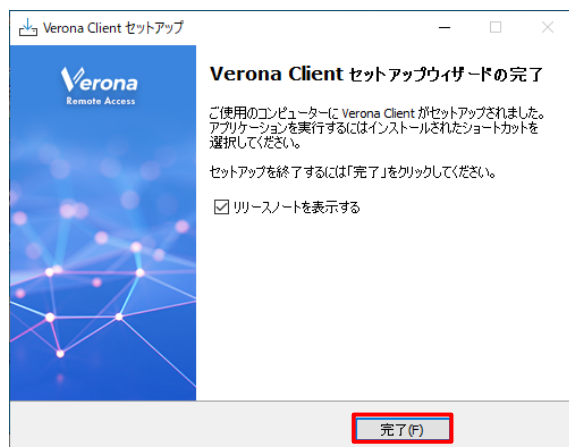
6. デスクトップ上にショートカットアイコンを作成する場合は、チェックボックスを ON にし、「次へ」ボタンをクリックします。



7. インストール先フォルダーが正しいことを確認の上、「インストール」ボタンをクリックし、インストールを開始します。



8. インストールが正常終了した場合、「Verona Client セットアップウィザードの完了」画面が表示されますので、「完了」ボタンをクリックします。



注意

インストール中に、デバイスドライバソフトウェアのインストール画面が表示された場合は、インストールを選択してください。
デバイスドライバのインストール画面は、Verona Client の初回起動時に表示される場合もあります。

第 2 章 リモートアクセス VPN の接続手順

1. 接続に必要なもの

Verona Edge へ接続するには、Verona Client へ「リモートアクセス設定ファイル」を登録する必要があります。Verona Client バージョン 4.2.0 以降は、下記の 2 通りの手順によって登録することができます。Verona Client バージョン 4.1.3 以前をご利用の場合、「直接リモートアクセス設定ファイルを登録する」方法のみご利用いただけます。

- 直接リモートアクセス設定ファイルを登録する

Verona Cloud より発行された「リモートアクセス設定ファイル」と「シークレットコード」(6 桁の数字)が必要です。

- リモートアクセス設定ファイル

(例) 9999-9999-9999-999999.nvraskey

- シークレットコード

6 桁の数字

詳細手順は「2. リモートアクセス接続先の追加」をご参照ください。

- Verona Cloud からリモートアクセス設定ファイルを登録する

事前に Verona Cloud Console 管理者により設定がなされている場合、Microsoft Entra ID、HENNGE One もしくは Verona Cloud にログインすることにより「Verona Cloud から登録」機能が利用できます。この場合、「リモートアクセス設定ファイル」、「シークレットコード」は不要です。

詳細手順は「3. ログイン (Microsoft Entra ID, Verona Cloud, IDaaS との連携機能)」および「4. Verona Cloud からのリモートアクセス接続先の追加」をご参照ください。

2. リモートアクセス接続先の追加

Verona Client へ「リモートアクセス設定ファイル」を登録することで、リモートアクセス VPN の接続先を追加することができます。

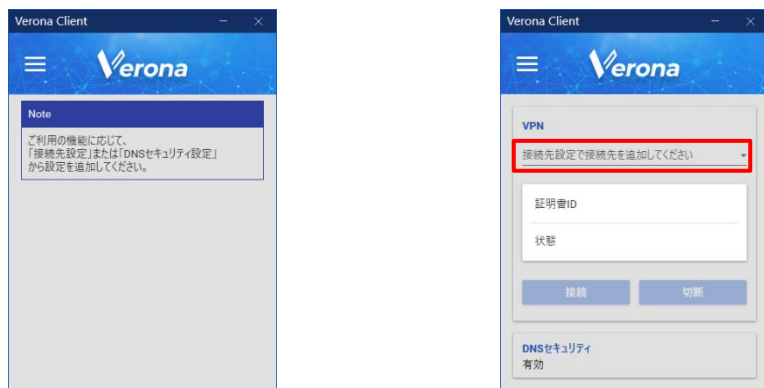
1. Verona Client を起動します。

Verona Client を スタートメニューの「Verona Client」-「Verona Client」をクリックして起動してください。

2. 「Verona Client」画面が表示されます。

リモートアクセス設定ファイルが登録されていない場合は、画像のようにファイル登録案内が表示されています。

DNS セキュリティ設定が登録されていない場合は左画像、登録されている場合は右画像のように表示されます。



3. 「Verona Client」画面左上のメニューアイコンよりメニューを表示し、「接続先設定」をクリックします。



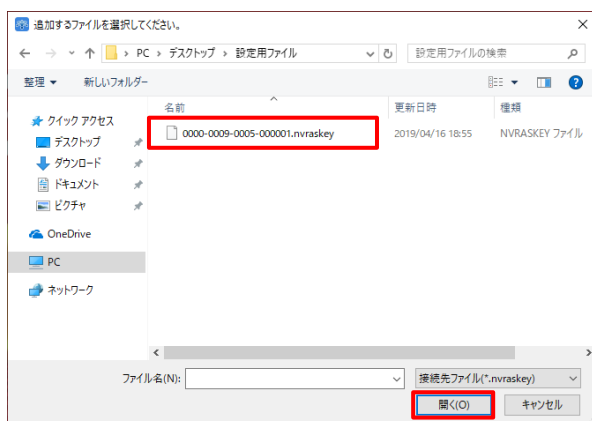
注意

VPN の接続中は、「接続先設定」メニューを選択することができません。

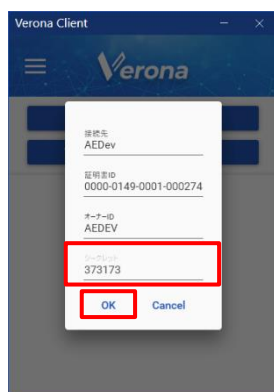
4. 「接続先設定」の画面が表示されますので、「接続先ファイルから登録」ボタンをクリックします。



5. ファイル選択のウィンドウが表示されますので、リモートアクセス設定ファイル
(例:9999-9999-9999-999999.nvrasky) を選択し、「開く」ボタンをクリックします。



6. リモートアクセス設定ファイルの登録画面が表示されますので、シークレットコード（数字6桁）を入力し、「OK」
ボタンをクリックします。



7. 登録処理完了のメッセージが表示されますので、「OK」ボタンをクリックします。



8. 「Verona Client」画面に戻ります。
「接続先」「証明書 ID」が登録され「状態」は切断と表示されます。



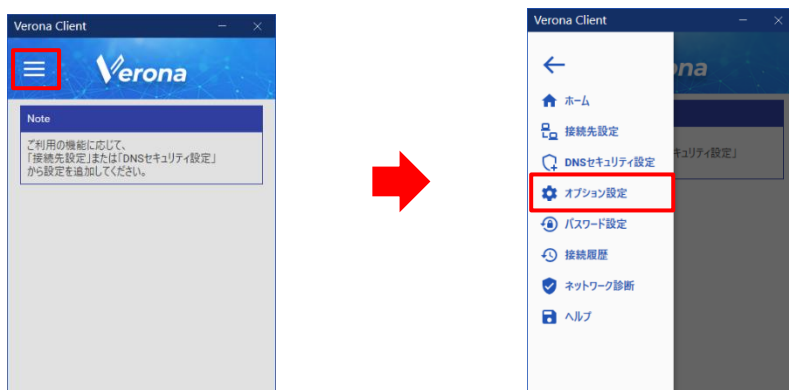
3. ログイン (Microsoft Entra ID, Verona Cloud, IDaaS との連携機能)

Verona Client バージョン 4.2.0 以降より、「Verona Cloud から登録」機能が利用できます。本機能を利用することで、Verona Client からリモートアクセス設定ファイルの発行申請およびインストールを行うことができます。ただし、事前に Verona Cloud Console 管理者による設定が必要となります。Microsoft Entra ID、HENNGE One、Okta、OneLogin によるシングルサインオンまたは、Verona Cloud へのログインが利用できます。

なお、ログインするためには Microsoft Edge WebView2 コンポーネントが必要となります。お使いの PC にインストールされていない場合、先に下記の手順を実行してインストールしてください。インストール済みの場合この手順は不要ですので、Microsoft Entra ID をご利用の場合は 12 ページ、HENNGE One・Okta・OneLogin の場合は 13 ページ、Verona Cloud の場合は 14 ページへお進みください。

Microsoft Edge WebView2 コンポーネントのインストール

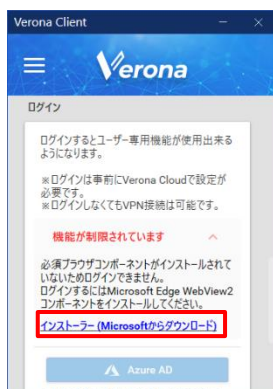
1. 「Verona Client」画面左上のメニューアイコンよりメニューを表示し、「オプション設定」をクリックします。



2. コンポーネントがインストールされていない場合、画像のように「機能が制限されています」と表示されますので、クリックして展開します。



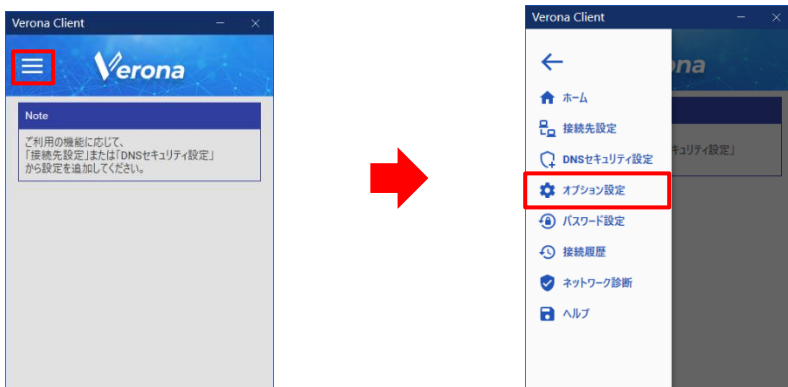
- 「インストーラー(Microsoft からダウンロード)」ボタンをクリックします。ブラウザが起動し、MicrosoftEdgeWebview2Setup.exe が自動でダウンロードされます。



- ダウンロードしたインストーラーを実行します。
- Verona Client を再起動します。

Microsoft Entra ID 連携を利用する場合（バージョン 4.2.0 以降）

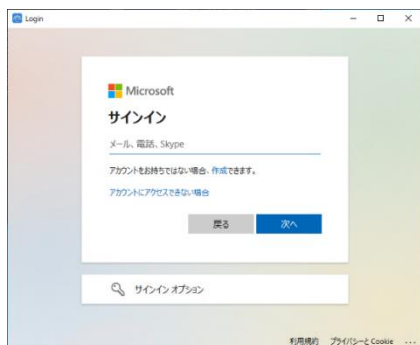
- 「Verona Client」画面左上のメニューアイコンよりメニューを表示し、「オプション設定」をクリックします。



- 画面を下にスクロールし、「Microsoft Entra ID」ボタンをクリックします。

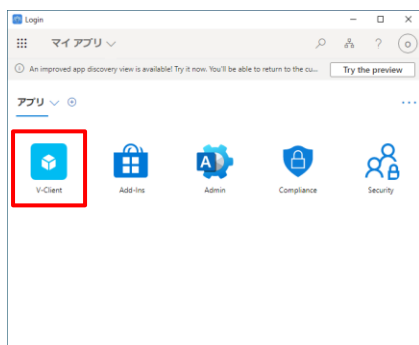


3. Microsoft アカウント情報の入力画面が表示されるので、Microsoft Entra ID アカウント情報を入力します。



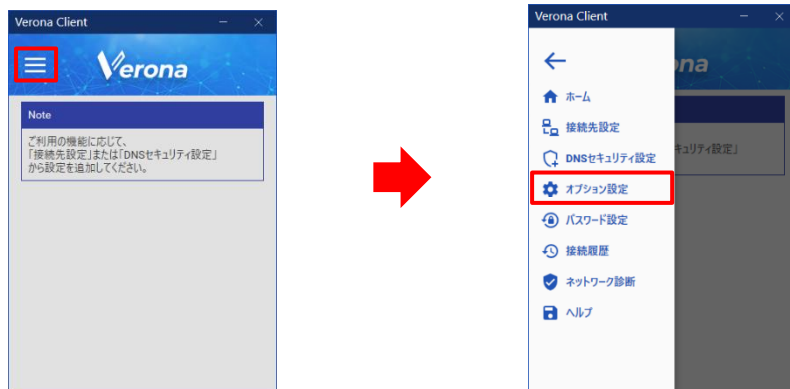
4. 「Verona Client」をクリックします。ログインが完了します。

16 ページ「Verona Cloud からのリモートアクセス接続先の追加」の手順へ進んでください。



HENNGE One（バージョン 4.3.0 以降）・Okta・OneLogin（バージョン 4.4.0 以降）連携を利用する場合

1. 「Verona Client」画面左上のメニューアイコンよりメニューを表示し、「オプション設定」をクリックします。



2. 画面を下にスクロールし、「Verona Cloud, IDaaS」をクリックします。



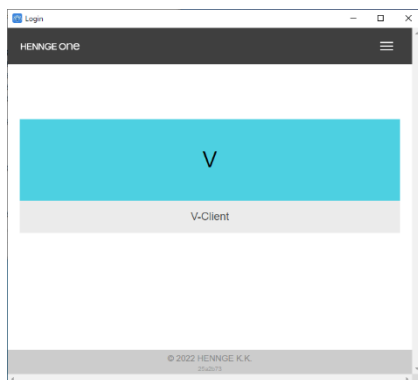
3. ログイン URL 入力ダイアログが表示されるので、管理者から通知されたログイン URL を入力します。なお、この操作は 2 回目以降省略することができます。



4. ご利用の IDaaS のログイン情報を入力し、ログインします。画像は HENNGE One をご利用の場合の表示例です。



5. 「Verona Client」をクリックします。



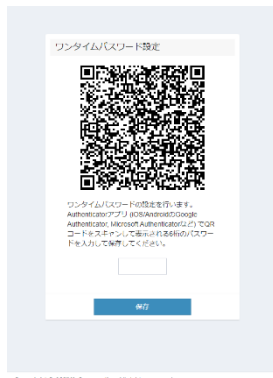
17 ページ「Verona Cloud からのリモートアクセス接続先の追加」の手順へ進んでください。

Verona Cloud へ直接ログインする場合（バージョン 4.3.0 以降）

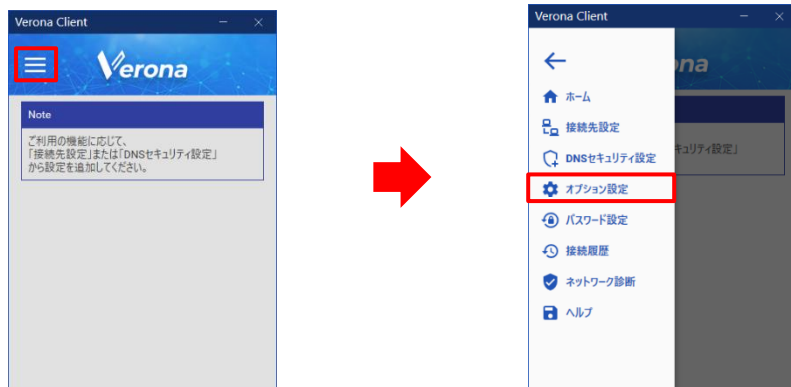
認証のために Microsoft Authenticator, Google Authenticator などの Authentication アプリが必要となります。予めご利用の PC またはスマートフォンなどの端末にご準備ください。

1. 管理者から届いたユーザーアカウントの仮登録完了通知メールに示されたリンクをクリックします。
2. 別途管理者から通知されたアクティベーションキーを入力し、任意のパスワードを設定します。

3. 2段階認証用の QR コードが表示されますので、Authentication アプリで読み取ったワンタイムパスワードを入力します。アカウントのアクティベートが完了します。アクティベートが成功した場合、ワンタイムパスワード設定完了の通知メールが届きます。Verona Client でのログイン手順とログイン用 URL が記載されていますので、大切に保管してください。



4. 「Verona Client」画面左上のメニューアイコンよりメニューを表示し、「オプション設定」をクリックします。



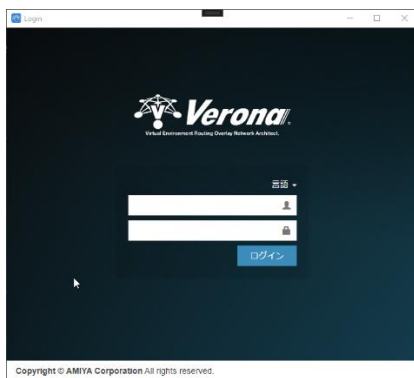
5. 画面を下にスクロールし、「Verona Cloud, IDaaS」をクリックします。



6. ログイン URL 入力ダイアログが表示されるので、手順 3 で届いたメールに記載されているログイン URL を入力します。なお、この操作は 2 回目以降省略することができます。

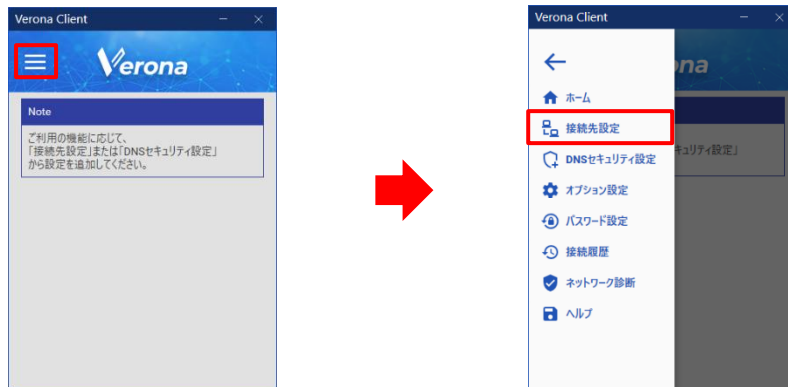


7. メールアドレスと、アカウントアクティベートの際に設定したパスワードを入力します。



4. Verona Cloud からのリモートアクセス接続先の追加

1. ログイン完了後「オプション設定」画面に戻りますので、再度画面左上のメニューから「接続先設定」をクリックします。



2. 「Verona Cloud から登録」の「申請」ボタンをクリックします。

ただし、Verona Cloud Console 管理者による自動承認設定が有効化されている場合、下記 3 および 4 の手順はスキップされ自動的に証明書ファイルのインストールが完了します。



3. Verona Cloud Console 管理者の承認待ち状態となります。



4. 承認後、「インストール」ボタンが表示されますので、クリックします。





5. 登録処理完了のメッセージが表示されますので、「OK」ボタンをクリックします。



6. 「Verona Client」画面に戻ります。
「接続先」「証明書 ID」が登録され「状態」は切断と表示されます。



5. リモートアクセス VPN の接続 / 切断

 注意	Verona Cloud Console 管理者によりログイン強制機能が有効化されている場合、ログインせずに接続を試行すると接続が拒否されます。「3.ログイン」の手順に従ってログインしてから接続してください。
 注意	Verona Cloud Console 管理者により Verona Client 起動強制機能が有効化されている場合、自動で VPN 接続が行われ、切断にはマスターパスワードが必要となります。詳細は3章「12. Verona Client ポリシー」をご覧ください。

【接続】

1. Verona Client を起動し、接続先を選択後「接続」ボタンをクリックします。

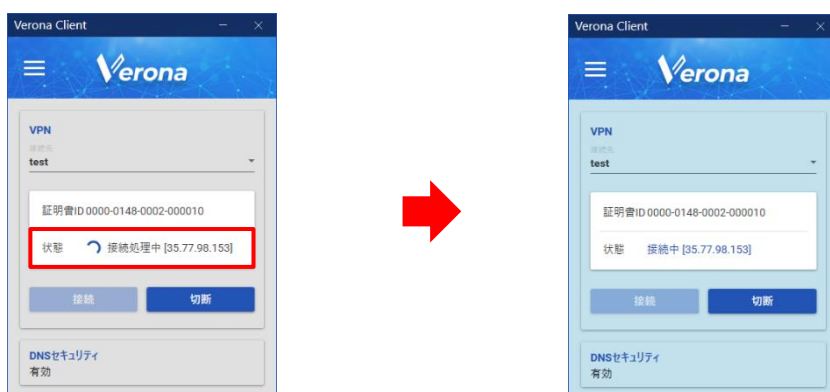


2. 接続が開始されると、「状態」に「接続処理中 [(Verona Edge の IP アドレス)]」と表示されます。

接続が完了すると、ウィンドウが自動的に最小化されます。

再び「Verona Client」画面を表示するには、タスクトレイにあるアイコンをダブルクリックします。

接続中は、「Verona Client」画面の背景色が青色に変化します。



【切断】

1. 「Verona Client」画面より「切断」ボタンをクリックします。



2. 「(接続先名)への接続を切断しますか？」という確認メッセージが表示されますので、「OK」ボタンをクリックします。切断処理完了後は、ウィンドウがVPN接続前の状態になります。

**6. プロキシ設定（プロキシサーバ経由での Verona Client の利用）**

リモートアクセス VPN 接続時に使用するプロキシサーバを指定することができます。

1. 「Verona Client」画面左上のメニューアイコンよりメニューを表示し、「オプション設定」をクリックします。



2. 「オプション設定」の画面が表示されますので、画面を下にスクロールして「詳細設定」を表示し、「プロキシ設定編集」をクリックします。



3. 「プロキシ設定」画面が表示されますので、プロキシの設定情報を入力し、「OK」ボタンをクリックします。



- ① IP アドレス : 接続するプロキシサーバの IP アドレス
- ② ポート番号 : プロキシサーバへの接続に使用する TCP ポート番号
- ③ ユーザー名 : プロキシサーバ認証用ユーザー名
- ④ パスワード : プロキシサーバ認証用パスワード



4. 「プロキシ設定を保存しました。」というメッセージが表示されますので、「OK」ボタンをクリックします。



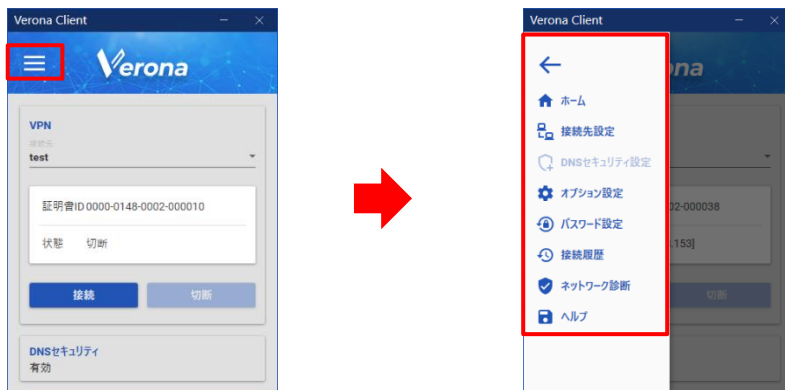
5. 「プロキシ設定を使用する」のチェックボックスを ON にします。

 注意	上書きインストール前にプロキシ設定を行っていた場合、自動的に「プロキシ設定を使用する」チェックボックスも ON に設定され、設定値もこの設定画面に反映されます。
 注意	プロキシ設定は SSL 接続時のみ有効となります。VPN タイプで WireGuard および IPsec 選択時には、本設定に関わらずプロキシを適用せずに接続されます。

第 3 章 Verona Client の管理機能

この章では、Verona Client で利用できる機能について説明します。

各機能は、「Verona Client」画面左上のメニューアイコンをクリックし、表示されるメニューから選択できます。



1. VPN の自動接続

自動的にリモートアクセス VPN の接続開始、再接続を行うことができます。

- 「ログオン時に接続」機能



Windows の起動時に自動的に Verona Client も起動し、前回接続した接続先への接続を開始します。

- 「Verona Client 起動時に接続」機能

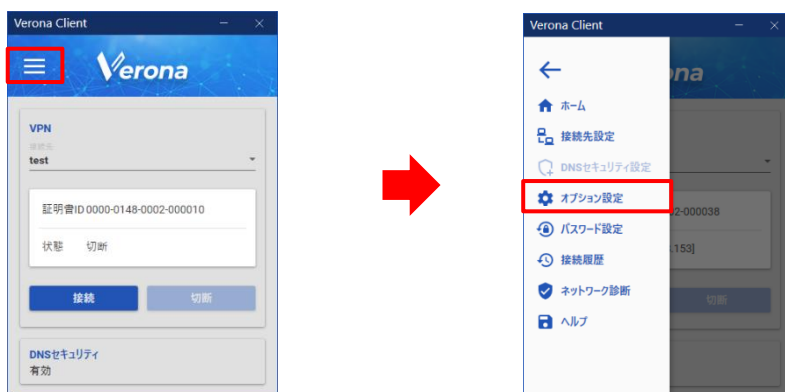
Verona Client の起動時に前回接続した接続先へ、自動的に接続を開始します。

- 「自動再接続」機能

リモートアクセス VPN 接続が、回線状況などの理由により切断された場合、自動的に再接続を行います。

 注意	オプション設定の「パスワード設定」で「接続時にパスワード設定を入力する」のチェックボックスが ON の場合は、「ログオン時に接続」機能および「Verona Client 起動時に接続」機能は常に無効になります。
 注意	「自動再接続」を有効にした場合、接続時および切断時のメッセージは表示されなくなります。

1. 「Verona Client」画面左上のメニューアイコンよりメニューを表示し、「オプション設定」をクリックします。



2. 「ログオン時に接続」機能を有効にする場合

「自動接続」の「ログオン時に接続」のチェックボックスを ON に設定してください。次回 Windows 起動時に Verona Client を起動し、最後に使用した接続先への接続が自動的に開始されます。

3. 「Verona Client 起動時に接続」機能を有効にする場合

「自動接続」の「Verona Client 起動時に接続」のチェックボックスを ON に設定してください。次回 Verona Client 起動時に、最後に使用した接続先への接続が自動的に開始されます。


4. 「自動再接続」機能を有効にする場合

「自動接続」の「自動再接続」のチェックボックスを ON に設定してください。ON に設定した時点から本機能は有効になります。

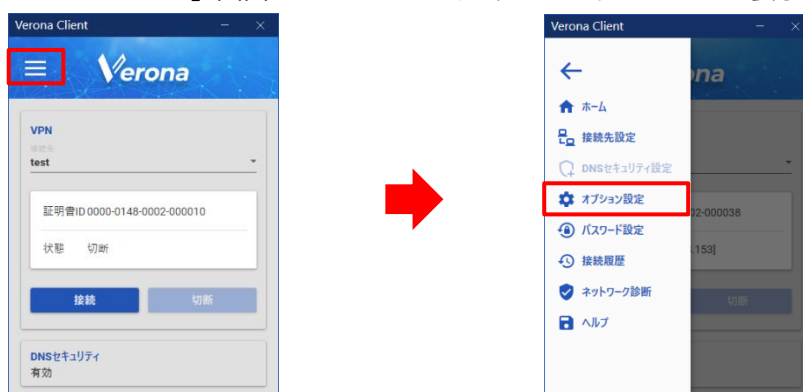


2. VPN タイプ

リモートアクセス VPN 接続時の「VPN タイプ」を選択することができます。

 注意	<p>“自動”の選択を推奨します。</p> <p>“自動”以外の設定を選択した場合、Verona Edge の設置構成により上位機器に設定変更を実施しないと選択した接続方式での VPN 接続が実施できない可能性があります。詳しくは Verona サポートまでお問い合わせください。</p>
---	--

1. 「Verona Client」画面左上のメニューアイコンよりメニューを表示し、「オプション設定」をクリックします。



2. 「VPN タイプ」を選択します。



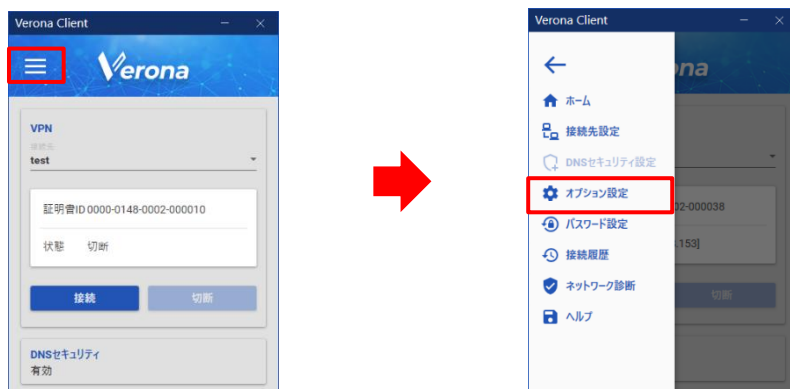
自動	<p>利用可能な VPN 接続方式を自動的に判別して接続を試行します。</p> <p>WireGuard、IPsec、SSL(TAP)、SSL(TUN)の順で接続が成功するまで試行します。</p> <p>また、前回接続時からネットワーク環境が変わっていない場合は、前回の接続方式を優先して試行します。</p>
WireGuard	WireGuard で接続を試行します。
IPsec	IPsec で接続を試行します。
SSL(TAP)	SSL(TAP)で接続を試行します。
SSL(TUN)	SSL(TUN)で接続を試行します。

3. 詳細設定

ローカルネットワークアドレスへの通信制御を設定できます。



例えば、家庭のルータ配下等のローカルネットワークと、接続先 Verona Edge 配下のネットワークのアドレス範囲が重複している場合に利用します。ON にした場合、ローカルと VPN 先のネットワークのアドレス範囲が重複する場合でも、VPN 先の社内サーバ等にアクセス可能になります。OFF にした場合、重複しているアドレス範囲への通信は VPN を経由せず、ローカルネットワーク宛のルーティングを優先します。

1. 「Verona Client」画面左上のメニューアイコンよりメニューを表示し、「オプション設定」をクリックします。



2. 画面を下にスクロールし、「詳細設定」から「ローカルと VPN のネットワークが重複した場合、VPN 経由の通信を優先する」のチェックボックスを ON にします。

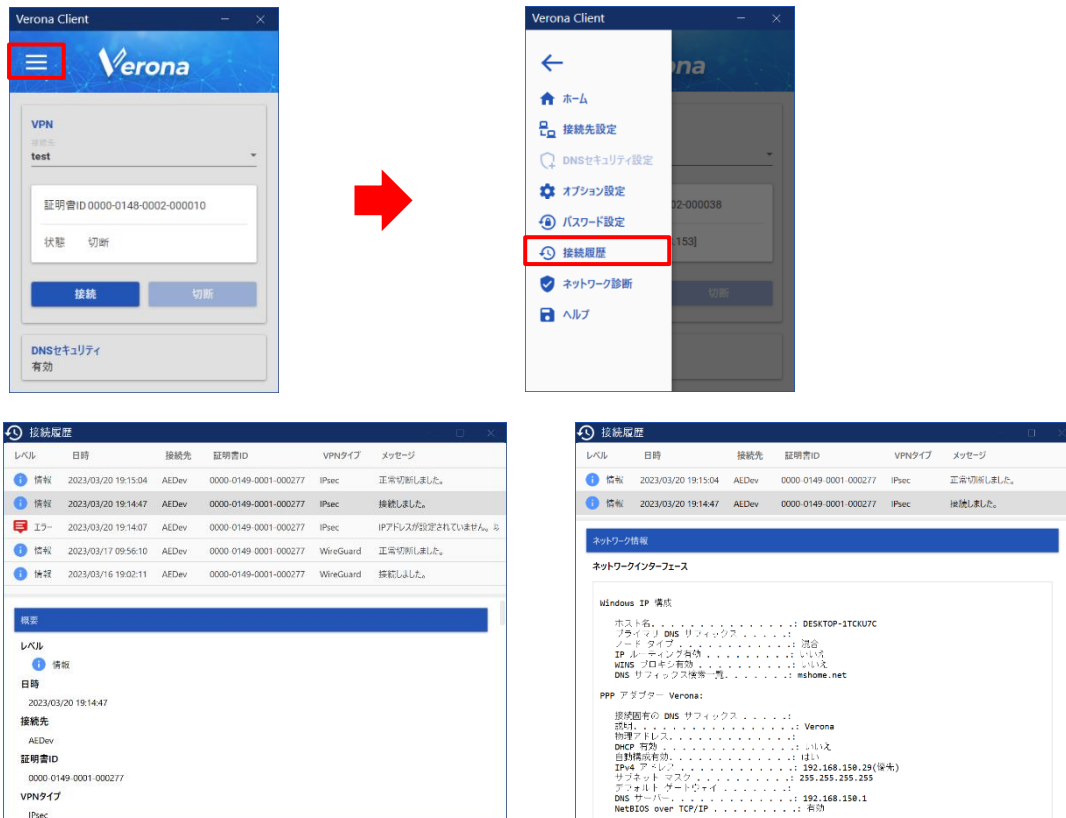


 注意	<p>「ローカルと VPN のネットワークが重複した場合、VPN 経由の通信を優先する」機能を有効にした場合でも、Verona Client をインストールした PC と同じローカル IP アドレスが設定された機器への通信はできない場合があります。ローカル側の端末の IP アドレスを宛先と異なる値へと変更するなどの対処をご検討ください。</p>
 注意	<p>Verona Cloud Console 管理者により Verona Client ポリシーが設定されている場合、ポリシーによって指定された設定を Verona Client から変更することはできません。詳細は 3 章「13. Verona Client ポリシー」をご覧ください。</p>

4. VPN 接続/切断の履歴

リモートアクセス VPN の接続/切断時刻とネットワーク情報の履歴を表示することができます。

「Verona Client」画面左上のメニューアイコンよりメニューを表示し、「接続履歴」をクリックします。「接続履歴」画面が表示されます。



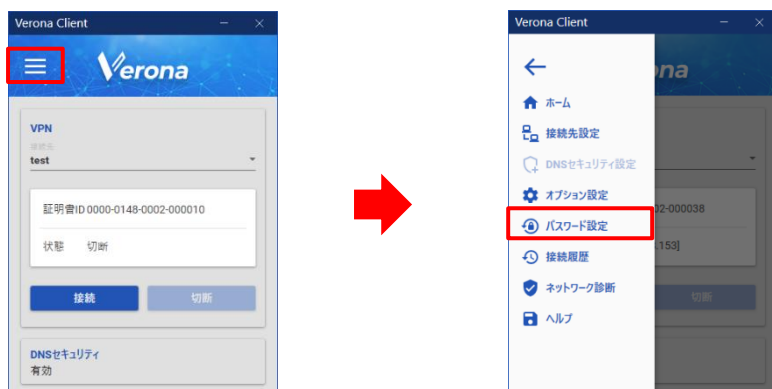
5. 接続用パスワード

リモートアクセス VPN 接続開始時にパスワード入力を要求するように設定をすることができます。

パスワード設定の管理は、メニューの「パスワード設定」で行います。Verona Client のパスワードの設定は、初期状態では未設定です。バージョンアップ前にパスワードを設定していた場合、その設定が引き継がれます。

【パスワードの設定】



1. 「Verona Client」画面左上のメニューアイコンよりメニューを表示し、「パスワード設定」をクリックします。



2. 「パスワード設定」画面が表示されますので、「接続時にパスワードを入力する」のチェックボックスを ON にします。「パスワード」に英数字 6 文字以上 20 文字以内のパスワードを入力し、「パスワード【確認】」にも同じパスワードを入力します。入力後、「登録」ボタンをクリックします。

登録後はリモートアクセス VPN 接続の開始時に、パスワード入力が求められます。



 注意	<p>VPN 接続時、パスワード変更時並びに、パスワード設定解除時に入力するパスワードを 5 回連続して間違えた場合、登録済みの接続先情報が全て削除され、パスワードは未設定状態に戻ります。</p> <p>この場合、再度接続先設定ファイルを登録することで接続可能となります。再登録にあたって設定情報をリセットする必要がありますので、Verona Client 運用ご担当者またはサポートセンターまでお問い合わせください。</p>
 注意	<p>管理者によって Verona Cloud Console 側で「パスワード強制設定機能」が有効化されている場合、Verona Client のパスワード設定が未設定のまま接続を行うと、接続が拒否されます。パスワードを設定してから接続をしてください。</p>



注意

設定できるパスワード文字は、英大文字・英小文字・数字のみです。

【パスワードの変更】

1. 「Verona Client」画面左上のメニューアイコンよりメニューを表示し、「パスワード設定」をクリックします。

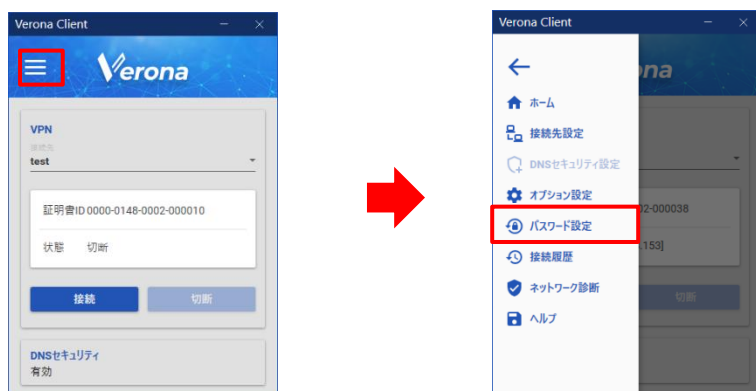


2. 「パスワード設定」画面が表示されますので、「変更前のパスワード」に現在設定しているパスワードを入力し、「パスワード」と「新しいパスワード【確認】」に新たなパスワードを入力します。入力後、「変更」ボタンをクリックします。



【パスワード設定の解除】

1. 「Verona Client」画面左上のメニューアイコンよりメニューを表示し、「パスワード設定」をクリックします。



2. 「パスワード設定」画面が表示されますので、「接続時にパスワードを入力する」のチェックボックスを OFF にし、「変更前パスワード」に現在設定しているパスワードを入力します。入力後、「解除」ボタンをクリックします。



6. ネットワーク診断

ネットワークの通信状態を判定し、リモートアクセス接続が可能な状態であるかを確認することができます。

1. ネットワーク診断を行う「接続先」を選択します。「Verona Client」画面左上のメニューアイコンよりメニューを表示し、「ネットワーク診断」をクリックします。



2. 「ネットワーク診断」の画面が表示されますので、「診断」ボタンをクリックします。



注意

ご利用中のネットワーク環境によっては、診断完了までに数分程度かかる場合があります。

3. ネットワーク診断が終了すると、診断結果が表示されます。問題が発見された場合は、下表を参照の上、状態をご確認ください。



	メッセージ	確認内容
Windows サービス	Windows サービスが起動していません。	「コントロールパネル」→「管理ツール」→「サービス」または「コントロールパネル」→「システムとセキュリティ」→「管理ツール」→「サービス」の順に選択し、Windows のサービス管理ツールより、「Verona Remote Access Service」が起動していることをご確認ください。
Windows サービス	Windows の IPsec 接続に必要なサービスが無効になっています。	Windows のサービス管理ツールより、「IKE and AuthIP IPsec Keying Modules」のスタートアップの種類が自動となっていることをご確認ください。
ドライバ	ネットワークデバイスがインストールされていません。	メニューより「ヘルプ」-「ネットワークデバイス再インストール」を実行した後、再度接続してください。操作の詳細は第 3 章「9. ネットワークデバイスの再インストール」をご確認ください。
IP	IP アドレスが設定されていません。	有線 LAN の場合は、LAN ケーブルが端末に正しく接続されていること、無線 LAN の場合は、アクセスポイントに接続されていることをご確認ください。
IP	デフォルトゲートウェイが未設定です。 デフォルトゲートウェイへ通信できません	ご利用のコンピュータで正しい IP 設定がなされているかをご確認ください。
DNS	DNS で名前解決できませんでした。	ご利用のネットワーク環境において、名前解決が正常にできていることをご確認ください。
インターネット	インターネットに接続できませんでした。	Web ブラウザによるインターネットアクセスが正常に行えることをご確認ください。

インターネット	<p>プロキシサーバに接続できませんでした。プロキシ設定の IP アドレス、ポート番号を確認してください。</p> <p>プロキシ認証エラーです。プロキシ設定のユーザー名、パスワードを確認してください。</p>	オプション設定の「プロキシ設定編集」で設定したプロキシ設定が正しいことをご確認ください。
Verona Cloud	<p>接続できませんでした。</p> <p>接続がタイムアウトしました。</p>	<p>Verona Cloud Server 宛の通信(IP アドレス、ポート番号)が許可されているかを確認する必要があります。</p> <p>詳細は弊社サポートセンターまでご連絡ください。</p>
Verona Edge	<p>接続できませんでした。</p> <p>接続がタイムアウトしました。</p>	<p>ご利用のネットワーク環境において、Verona Edge 宛の通信(IP アドレス、ポート番号)が許可されているかを確認する必要があります。</p> <p>または、端末側のセキュリティソフト等の影響、ご利用のネットワーク環境が要因となり VPN 接続に失敗している可能性があります。</p> <p>詳細は弊社サポートセンターまでご連絡ください。</p>

7. リモートアクセス接続先の削除

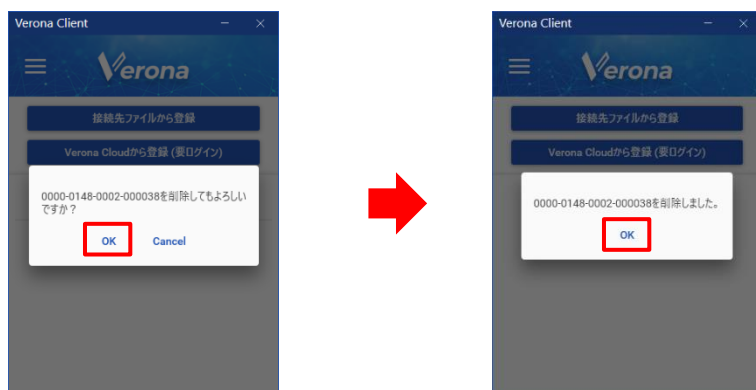
1. 「Verona Client」画面左上のメニューアイコンよりメニューを表示し、「接続先設定」をクリックします。



2. 「接続先設定」画面が表示されますので、削除したいリモートアクセス接続先の右側に表示されている「ゴミ箱」のアイコンをクリックします。



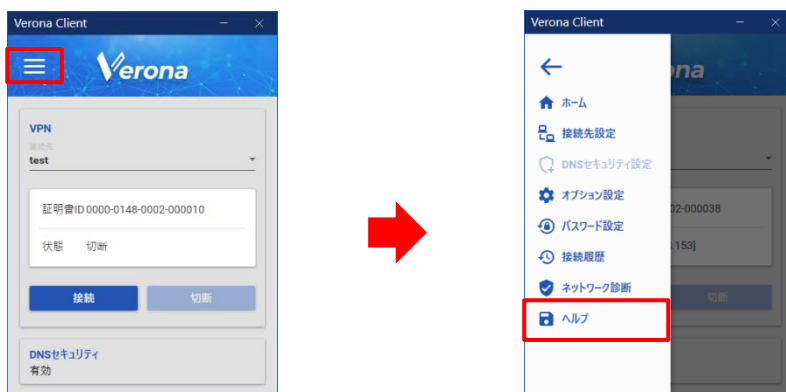
3. 接続先削除に対する確認のメッセージが表示されますので、「OK」ボタンをクリックします。削除後、削除完了のメッセージが表示されますので、「OK」ボタンをクリックします。



8. ログ情報の保存

Verona Client に関する一連のログ情報を出力します。

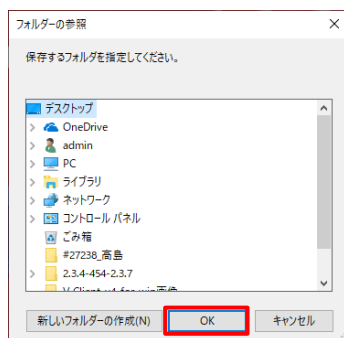
1. 「Verona Client」画面左上のメニューアイコンよりメニューを表示し、「ヘルプ」をクリックします。



2. 「ヘルプ」画面が表示されますので、保存したいログを選択し、「ログ保存」ボタンをクリックします。



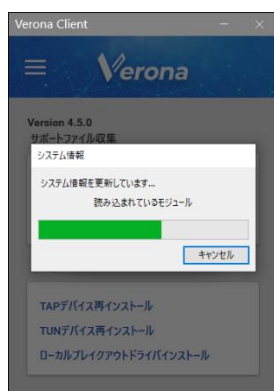
3. 「フォルダーの参照」画面が表示されますので、保存先のフォルダーを選択して、「OK」ボタンをクリックすることでログ保存を開始します。



注意


保存するログの量や端末の環境などによっては、保存に数分程度かかる場合があります。

4. ログの保存完了後、「ログを保存しました。」というメッセージが表示されますので、「OK」ボタンをクリックします。なお、ログは「Verona Client_ホスト名_yyyymmdd-hhmmss.zip」というファイル名で保存されます。(yyyymmdd-hhmmss は、ログを作成した日付と時刻です)



9. ネットワークデバイスの再インストール

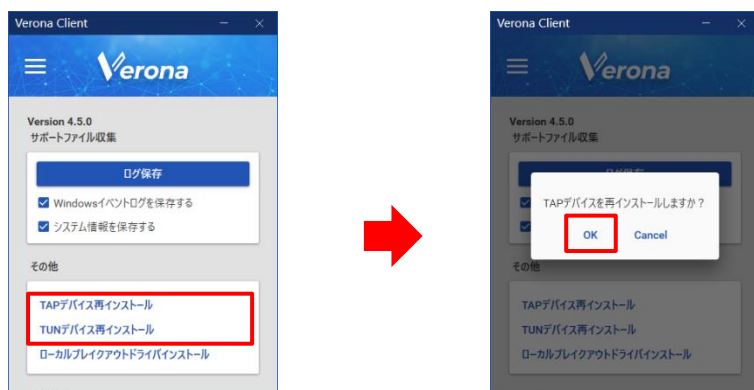
通常、Verona Edge への接続に利用するネットワークデバイスは、Verona Client インストール時に一緒にインストールされますが、以下の手順で再インストールをすることができます。

 注意	<p>Verona Client のインストールの際、ご利用の端末の状態によってはネットワークデバイスのインストールに失敗することがあります。</p> <p>その場合は、以下の手順にてネットワークデバイスのインストールをお試しください。</p> <p>再度ネットワークデバイスのインストールに失敗する場合は、Verona サポートまでご連絡ください。</p>
---	---

1. 「Verona Client」画面左上のメニューアイコンよりメニューを表示し、「ヘルプ」をクリックします。



2. 「ヘルプ」画面が表示されますので、ご利用の接続方式に応じて、「TAP デバイス再インストール」または「TUN デバイス再インストール」ボタンをクリックします。「TAP デバイス (TUN デバイス) を再インストールしますか？」というメッセージが表示されますので、「OK」ボタンをクリックし、インストールを開始します。



- インストールが完了すると、「TAP デバイス(TUN デバイス)をインストールしました。」というメッセージが表示されますので、「OK」ボタンをクリックします。



10. ブレイクアウトドライバインストール

ローカルブレイクアウト機能およびリモートブレイクアウト機能(Veron Client バージョン 4.7.0 以降)を利用する場合、VPN 接続前にドライバをインストールする必要があります。

- 「Verona Client」画面左上のメニューアイコンよりメニューを表示し、「ヘルプ」をクリックします。



- 「ヘルプ」画面が表示されますので、「ブレイクアウトドライバインストール」ボタンをクリックします。「ブレイクアウトドライバをインストールしますか?」というメッセージが表示されますので、「OK」ボタンをクリックし、インストールを開始します。



- インストールが完了すると、「ブレイクアウトドライバをインストールしました。」というメッセージが表示され

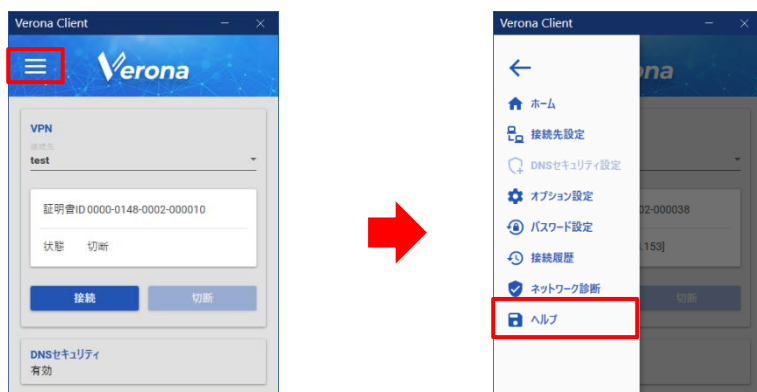
ますので、「OK」ボタンをクリックします。



11. IPv4 優先設定

お使いのネットワーク環境で IPv6 が有効である場合、特定の環境で VPN 接続が失敗する場合があります。そのような場合、以下の手順をお試しください。

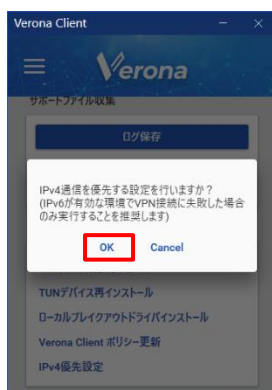
1. 「Verona Client」画面左上のメニューアイコンよりメニューを表示し、「ヘルプ」をクリックします。



2. 画面を下にスクロールし、「IPv4 優先設定」ボタンをクリックします。



3. 確認画面が表示されますので、「OK」ボタンをクリックします。



4. 設定完了を示すメッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックした後、端末を再起動してください。再起動後、IPv4 優先設定が有効となります。



12. Verona Client のアンインストール

1. アンインストールの前に、Verona Client を停止、終了します。
2. Windows のコントロールパネルから「プログラムのアンインストール」を開きます。
3. 「Verona Client バージョン x.x.x」を選択し、アンインストールを実行してください。
(「x.x.x」はバージョン番号が入ります)

13. Verona Client ポリシー

Verona Client バージョン 4.6.0 以降より、Verona Cloud Console 管理者によって Verona Client ポリシーの設定が可能となりました。ポリシーの起動強制機能が有効化されている場合、Windows へのサインイン時に自動で VPN 接続が行われ、任意に切断することはできなくなります。また、ホーム画面上に「起動強制機能が有効」というメッセージが表示され、一部の設定画面への移動が制限されます。ネットワーク上のトラブル発生時など VPN を切断する必要が生じた場合、Verona Cloud Console 管理者に問い合わせ、マスターパスワードを入力してください。

ポリシーによってオプション設定が指定されている場合、指定された設定を変更することはできません。



ポリシーの更新は定期的に自動で行われますが、手動で即時に反映させたい場合、以下の手順を実施してください。

1. 「Verona Client」画面左上のメニューアイコンよりメニューを表示し、「ヘルプ」をクリックします。

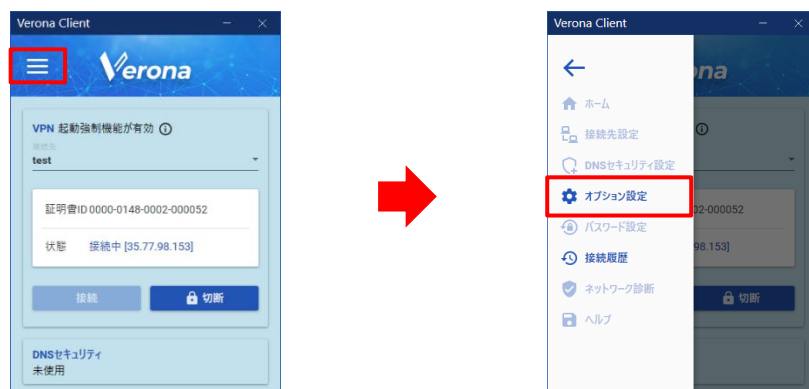


2. 「ヘルプ」画面が表示されますので、「Verona Client ポリシー更新」ボタンをクリックします。



Verona Client バージョン 4.6.3 より、起動強制機能が有効な場合でも一部のオプション設定を変更することが可能になりました。「2. VPN タイプ」「3. 詳細設定」とは設定方法が異なりますのでご注意ください。また、管理者の設定したポリシーに反する設定はできません。

1. 「Verona Client」画面左上のメニューアイコンよりメニューを表示し、「オプション設定」をクリックします。起動強制機能が有効な場合に限り、VPN 接続中も該当メニューが有効になります。



2. 変更したい設定をクリックします。画像は VPN タイプを「自動」から「WireGuard」に変更するときの例です。



3. 画面下部の「変更を適用する」ボタンをクリックします。



4. 設定が変更され、自動的にホーム画面に戻ります。


第4章 トラブルシューティング

Verona Client においてエラーが発生した場合は、エラーメッセージをご確認頂き、下記の対応をお願い致します。

エラーメッセージは、概要に続いて詳細内容が[]内に表示されます。

対応手順が不明、状況が改善しないなどの場合は、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

問合せ方法	受付時間	連絡先
電話	平日 9 : 00 ~ 17 : 00 ※年末年始を除く	03-6822-9905
メール	24 時間 365 日 ※対応は年末年始を除く、平日 9 : 00 ~ 17 : 00	verona-support@amiya.co.jp

 注意	通信トラブルの場合、「ネットワーク診断」機能をご利用頂くことで、原因を特定できる場合があります。詳細は、第3章の「6. ネットワーク診断」をご参照ください。
---	--

概要	詳細	対応方法
Verona Cloud と通信できませんでした。	[Windows サービスが起動していません。...] [ネットワークデバイスが無効化されています。...] [IP アドレスが設定されていません。...]	端末側の要因で VPN 接続できない場合に表示されます。詳細内容に記載されている内容に従って対処してください。
Verona Cloud 応答エラーです。	[Verona Cloud:12-97 接続先 RAS 情報がアクティブではありません] [Verona Cloud:12-92 RAS DATA DECODE エラー]	登録済みのリモートアクセス設定ファイルを別端末に登録しようとした場合や、リモートアクセス設定ファイルが Verona Cloud Console 上でリセットされている場合に表示されます。登録済みの設定ファイルを他の端末で使用する必要がある場合は、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
VPN 接続に失敗しました。	[TCP コネクションの確立に失敗しました。...] [TLS セッションの確立に失敗しました。...] [プロキシサーバとのコネクション確立に失敗しました。...] [プロキシサーバと Verona Edge の通信が失敗しました。...]	VPN 接続処理時に、Verona Edge との VPN セッションの確立に失敗した場合に表示されます。端末またはネットワーク環境において VPN 接続ができない状況が発生している可能性があります。詳細は弊社サポートセンターまでご連絡ください。
VPN 接続が切断されました。	[ネットワーク接続が切断されました。] [ネットワークデバイスが無効化されています。...] [ネットワークデバイスがインストールされていません。...]	VPN 接続中に、端末のネットワーク設定またはネットワーク環境において問題が発生し、VPN 接続が維持できなくなり切断された場合に表示されます。詳細メッセージに対処方法が記載されている場合は、内容に従って対処してください。 「ネットワーク診断」機能を利用することで、ご利用中のネットワークの通信状況を確認することができます。

付録 1 サイレント（非対話型）インストール

サイレント(非対話型)インストール機能では、インストーラーを起動後操作することなくインストールを完了させることができます。

サイレントインストールには以下の動作モードがあります。

※ どちらの動作モードにおいてもインストール過程において一時的なウィンドウの表示が発生します。

- SILENT

インストーラー起動時のスプラッシュウィンドウと、インストール進捗が画面に表示されます。


- VERYSILENT

インストーラー起動時のスプラッシュウィンドウのみが画面に表示されます。

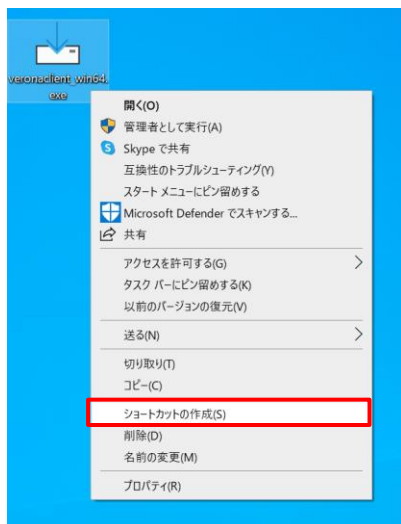
サイレントインストール機能を使用するためには、インストーラー起動時にオプションパラメータを指定します。

オプションパラメータは、ショートカットファイル、コマンドラインからの起動時に指定を追加します。

以降にショートカットファイルにオプションパラメータを指定する場合を記載します。

 注意	インストールを実行するには管理者権限が必要です。
---	--------------------------

1. Verona Client インストーラーを右クリックし、「ショートカットの作成」を選択します。



2. 作成したショートカットを右クリックしプロパティを選択し、プロパティを開きます。



3. 「ショートカット」タブの「リンク先」に インストーラーの配置場所を示す文字列が登録されています。末尾に以下の文字列を追記し、「適用」ボタンをクリックします。

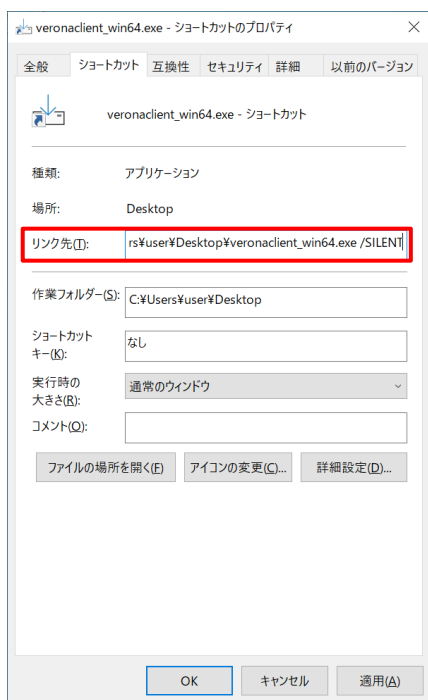
SILENT モード : 「(半角スペース)/SILENT」


VERYSILENT モード : 「(半角スペース)/VERYSILENT」

例 :

[変更前] "C:¥Users¥{ユーザー名}¥Desktop¥veronaclient_win64.exe"

[変更後] "C:¥Users¥{ユーザー名}¥Desktop¥veronaclient_win64.exe" /SILENT



 <p>注意</p>	<p>サイレントインストール時は、/SILENT、/VERYSILENT どちらのオプションもインストーラーのデフォルト設定を適用します。</p> <p>インストール先フォルダーは</p> <p>"C:¥Program Files¥V-Client¥"フォルダーになり、</p> <p>デスクトップにショートカットが作成されます。</p>
---	---

4. 設定をしたショートカットからインストーラーを起動すると、サイレントインストールが開始されます。